

一期目の四年間同様、何とぞ今後とも、なお一層のご指導・鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

さて、世界的な大不況の中、小野町を取り巻く環境も大変厳しい状況ですが、将来の小野町の発展のために、今、為すべきことを一つ一つ確実に実施していく必要があります。

一期目四年間は、行財政改革の推進、子育て支援、教育環境の充実、高齢者福祉をはじめとする福祉及び医療の充実、産業の振興、雇用の確保、インフラの整備、国県事業の促進(夏井川河川改修、磐越自動車道四車線化工事、あぶくま高原自動車道工事)等々重要課題に取り組み、一定の成果は得ることができましたが、小野町のさらなる発展のためには、なお一層の努力と施策の着実な推進が必要だと思います。

少子高齢化の中、小野町が持続的に発展し、みんなが輝く町づくりを目指すには、行財政を総合的に判断し、バランスのとれた施策の展開を進めることが重要です。

本年度からスタートする「第四次小野町振興計画」は、今後の十年間の町づくりの基本となるものですが、小野町の将来像を「きこめく人と自然、あったか小野町」と決めました。町づ

くりの基本目標を五つに設定し、「すこやか」「はぐくみ」「げんき」「さわやか」「あんしん」をキーワードに積極的に事業の展開に取り組んでまいります。

特に今後四年間の重要プロジェクトの一つとして、まず小野中学校の全面改築事業があります。生徒の安全安心の確保と豊かな教育環境実現のために校舎の建て替えを実施し、併せて給食センターを新設します。

町の宝である子ども達の学力・体力の向上、知育・食育・徳育など教育振興策に重点的に取り組み、豊かな人間性とたくましく生きる力を備えた、健康で元気な子どもを育成する教育を目指します。さらに各教育施設の耐震調査を実施し、安全安心な教育環境の充実を推進します。

また、子育て支援や幼児教育については、子どもや家族を応援する施策に積極的に取り組みます。保育・幼児教育に対する多様なニーズにこたえ、より良い就学前教育を実施するために新たな幼児教育施設として認定こども園の整備を本格的に進める考えです。

情報化の推進につきましては、情報技術の革新や機器普及が急速に進んでいます。とりわけ携帯電話や光ファイバー、インターネットなど小野町内の誰も

がどこでも情報社会の恩恵を享受できるようブロードバンド通信網の整備など情報基盤の充実に取り組めます。

また、市民の安全安心のためには医療の充実が欠かせません。特に地域医療の中核機関として公立小野町地方総合病院は大変重要であり、病院の確実な存続と充実にもさらに取り組む覚悟です。

産業の振興につきましては、農工商の連携を図り地域資源を活用した産品づくりを支援するなど地域の特性や伝統を生かした活力ある町づくりに努めます。また、既存企業の支援及び企業誘致に取り組み、雇用の確保を図るとともに、定住施策を実施してまいります。

さらに、多目的に利用できる巡回バスの具現化に努めるほか、社会基盤の整備、保健・福祉の充実に取り組み、子どもから高齢者までの誰もが安全で安心して快適に、健康で生きがいを持って暮らせる町づくりを目指してまいりますので、町民のみならず皆さまのご支援ご協力を重ねてお願い申し上げます。

二期目のスタートに際し所信の一端を申し述べましたが、これから四年間、誠心誠意頑張りますので、よろしくお願い申し上げます。

## 小野町長選挙結果について

任期満了による小野町長選挙が3月10日に告示され、立候補の届出をされたのが現職の穴戸良三氏一人であったため無投票となりました。

3月16日に当選証書付与式が小野町役場で行われ、村上輝男選挙管理委員会委員長から穴戸氏に当選証書が付与されました。

穴戸町長の新たな任期は、平成21年3月23日から4年間となります。

### 決意を新たに...



3月23日初登庁



当選証書付与式の様子